

ごあいさつ

NPO法人東京中央ネットでは、既存の建物をパビリオン(会場)に見立て、江戸から続く伝統や文化、歴史を紹介する「EDO ART EXPO」を毎秋に開催してまいりました。本年度で8回目をむかえたこの事業は、中央区、千代田区、港区、墨田区の名店、企業、ホテル、神社仏閣や文化・観光施設などが協力して催す一大イベントです。

「EDO ART EXPO」は「江戸の美意識」をメインテーマに、浮世絵を展示する「浮世絵展示会場」、「江戸」に関わる所蔵品を有する美術館、博物館、大学などが「関連展示会場」となり、幅広い連携のもとに開催してまいります。

また、会期中には、さまざまなイベントやワークショップ、各種ラリーなどを約60の会場で行い、楽しく充実した19日間をご提供したいと思っております。

ご来訪の皆さまには、江戸のDNAを受け継いだ「EDO ART EXPO」のエリアを回遊して、その奥深い魅力をご堪能いただければと願っています。

本展を開催するにあたり、ご協力を賜りました関係各位の皆さまに、深甚なる感謝とお礼を申し上げます。

2015年 9月 吉日

NPO法人東京中央ネット 理事長

山本 徳治郎



NPO法人東京中央ネット 相談役

細田 安兵衛



EDO ART EXPO 実行委員会 委員長

中村 裕



美は遺伝する江戸のDNA

江戸の美意識

開催記念
特別対談

脈々と受け継がれてきた、先人たちが残した「美」の世界

歴史を積み重ね、集積して現在に至る老舗や神社仏閣がパビリオンとなり参画し、浮世絵など日本の伝統や文化を伝える工夫をしていらっしゃるのには大変に意義深くシンボリックであると思います。(本文より抜粋)

日本観光の現状

山田 我国では2003(平成15)年に小泉内閣総理大臣のもと、「観光立国宣言」がなされました。2008(平成20)年に国土交通省の外局として新設された、観光庁の初代長官をお務めになった本保芳明さんと「第8回 EDO ART EXPO」の開催を記念して、国内外の観光の現状、日本の歴史、伝統や文化の魅力などについてお話をさせていただきます。在任中はリーダーシップを発揮し、その実行力に敬服された方々も多くいらっしゃったと伺っておりますが、ご経歴についてお聞かせください。

本保 私は北海道小樽の出身で、大学卒業後は国土交通省(旧運輸省)に入省しました。日本郵政公社の発足時に初代総裁とのご縁で転職した後、2007(平成19)年に再入省し国土交通省大臣官房総合観光政策審議官を経て、観光庁長官の任につきました。当時を振り返ってみると観光庁という新たな組織が軌道に乗るよう、レ-

ルを引くのが私の仕事であったと感じています。任期中の2008(平成20)年8月には、第34回主要国首脳会議(通称:北海道洞爺湖サミット)を契機に国際観光振興の推進を目指し、観光立国推進戦略会議において提言をまとめました。

現在は観光庁参与、首都大学東京特任教授に従事し、シンポジウムなどのコーディネートや講演などにも携わっています。

山田 インバウンド(訪日外国人旅行者)の数字は2013(平成25)年に初めて1,000万人を超え、翌年には1,340万人、本年1月から7月までで既に約1,105万人と順調に伸びてきました。要因として円安やアジア諸国の成長、ビザの緩和、消費税免税制度の拡充、またSNS(ソーシャルネットワークサービス)などITの進化が挙げられています。

本保 私は円安についてはロングタームで見ると為替が円高の時でもインバウンド数が増加していたので、あまり影響がないと考えます。もちろん円安は短期的には、日本観光を手頃になっているでしょう。今や国際観光客数は世界全体を見ても高度成長し、2030(平成42)年には18億人規模に達すると予想されています。この様な背景の中で日本が経済成長を遂げているアジアの新興国を、マーケットとして取り込めるようになってきたのが外的な要因の一つです。日本は戦後の一時期を除くと観光産業には力を注いで来ませんでしたが、現在の安倍政権下のスピーディな政策転換でビザを緩和したのも大きく状況を変えたと言えるでしょう。

また、航空自由化の協定(オープンスカイ協定)でLCC(格安航空会社)を含めて路線が充実し、更に羽田空港の国際化や成田空港の増便により、インバウンド数が大きく飛躍できたのです。



都会の喧噪を忘れさせてくれる日本庭園では、四季折々の美しい情景が楽しめます。

これらに政府を挙げて推進してきた観光施策のプロモーション効果が相乗し、現状に導いたと推測しています。

山田 今や私たちの生活にもインバウンドという言葉がすっかり定着して、インバウンド観光は注目の的です。急速なインバウンドの増加により、国内のマーケットシェアにもさまざまな影響が出ているように見受けられますが。

本保 観光産業に携わる方々においても、これほど多くの外国人を迎えるのは初めての経験で、文化や風習の違う外国人が求める観光ニーズに直面しているでしょう。しかし、私はそこに必然的な観光イノベーション



静かな佇まいの日本料理「源氏香」からは、庭園の借景を望むことができます。

撮影協力 ロイヤルパークホテル www.rph.co.jp
ヘアメイク・着付け・衣装 衣裳らくや www.rakuya.co.jp
撮影 小澤正明